令和４年度当初予算案の概要

資料１

**【1】　編　成　方　針**

府財政は、景気の持ち直しの動きを背景に、府税収入が概ねコロナ前の水準に回復する見込みであるものの、義務的に負担する社会保障関係経費が増大し続けるなど、今後も多額の収支不足が生じる見込みです。また、新型コロナウイルス感染症による影響や原材料価格の動向等による景気の下振れリスクがあるなど、依然として予断を許さない状況です。

このため、今回の予算編成においては、引き続き財政規律を堅持しつつ、「府政運営の基本方針2022」を踏まえ、新型コロナウイルス感染症から府民の命とくらしを守り、社会経済活動を回復させることに加え、再び大阪を成長軌道に乗せ、飛躍させていくための施策に限られた財源を重点的に配分しました。

**【2】　予　算　規　模**

単位：億円、％

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | R３当初 | R４当初 | 増減額 | 前年度比 |
| 一般会計 | 35,086 | 37,798 | 2,712 | 107.7 |
| 特別会計 | 28,505 | 29,087 | 582 | 102.0 |
| 計 | 63,591 | 66,885 | 3,294 | 105.2 |

 (各表においては、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。)

○全体の特徴

|  |
| --- |
| * 令和４年度当初予算は過去最大の予算規模
* 社会保障関係経費や、新型コロナウイルス感染症対策などの一般施策経費が増加（P4、5）
* 一方、府税収入は、景気の持ち直しの動きを背景に、概ねコロナ前の水準に回復する

見込み。（P7、8）* その結果、収支均衡のための財政調整基金の取崩額は、前年度から減少（P10）
 |
| （一般会計予算規模における増減の主な理由） |
| ・新型コロナウイルス感染症対策費の増（＋１,７０３億円）や大阪府営業時間短縮等協力金支給事業費の増（＋１，４８９億円）・中小企業向け制度融資に係る預託金の減（▲１，３８４億円）・支出が義務付けられている社会保障関係経費の自然増などによる増（＋１６７億円） |
|  |
| ○一般歳出ベース：３兆１，０６０億円、前年度当初比 １１０．０％、２，８２１億円の増。（公債費、税関連歳出、基金への積立金を除く歳出合計） |

○義務的支出：１兆９，１６４億円、前年度当初比 １０１．１％、２０２億円の増。

（人件費、公債費、税関連歳出、社会保障関係経費（義務的経費）の合計）

・一般会計当初予算の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２６ | H２７ | H２８ | H２９ | H３０ | R１ | R２ | R３ | R４当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 歳出総額 （調整前）一般歳出 | 27,837（30,713）22,484 | 28,361（32,886）22,249 | 28,215（32,772）22,062 | 26,393（30,866）19,803 | 25,54319,513 | 25,98320,098 | 26,36819,841 | 35,08628,240 | 46,37537,736 | 37,79831,060 |

＊H29年度以前の歳出総額は、地方消費税清算特別会計の設置（平成30年4月）に伴い、関連予算を調整した後の数値。

**【3】　一般会計の内訳**

**１　歳　出**

|  |
| --- |
| ○人　件　費：７，０１４億円（前年度当初比 １０１．５％、＋１０２億円）給与改定の実施（期末手当）による減少があるものの、市立高等学校等の一元化による教職員定数の増加などにより、１０２億円の増。 |
| 令和４年度 | 対前年度比 |
| ・条例定数（一般会計） | 知事部局教育庁（小中高等学校教職員等）公安委員会（警察職員）その他 | 7,25044,08723,292194 | 人人人人 | 0＋ 1,27700 | 人人人人 |
| 　計 | 74,823 | 人 | ＋ 1,277 | 人 |

・人件費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３ | R４当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 人件費給料等退職手当 | 8,3407,536804 | 8,2357,480755 | 8,2407,514726 | 6,7936,285508 | 6,7266,222504 | 6,7366,269467 | 6,6716,231440 | 6,9126,463449 | 6,7106,268441 | 7,0146,568446 |

|  |
| --- |
| ＜参考１＞令和３年度の主な給与改定について１　期末手当を０．１５月分引下げ　　　　　　　　【実施時期：令和３年１２月期】　 |

|  |
| --- |
| ○公債費：３，３１２億円（前年度当初比 １００．１％、＋２億円）臨時財政対策債等の発行額の減により、府債の元金償還が減少するものの、過去に発行した府債の減債基金への積立時期の到来による積立金の増加などにより、２億円の増。 |

・公債費、府債残高の推移（一般会計）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R1決算 | R２決算 | R３ | R４当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 公債費*(参考)府債残高* | 3,182*54,334* | 3,266*53,797* | 3,141*53,691* | 3,128*53,661* | 3,159*53,626* | 3,260*53,575* | 3,237*54,042* | 3,310*56,203* | 3,308*55,523* | 3,312*54,368* |

＊府債残高は、臨時財政対策債等を含む数値。府債残高については、９ページ参照。

|  |  |
| --- | --- |
| ○建設事業費： | １，６８０億円（前年度当初比 １００．９％、＋１４億円）南海トラフ巨大地震対策や大阪の成長を実現する新たなインフラ整備など、府にとって必要性・緊急性が高い事業について、計画的に整備を推進。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ・補助事業費： | ８２８億円（前年度当初比 ８５．７％、▲１３８億円）南海トラフ巨大地震対策、安威川ダム建設の事業進捗による減少や、道路などの整備にかかる国庫補助事業の減少などにより、１３８億円の減。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ・単独事業費： | ８５２億円（前年度当初比 １２１．７％、＋１５２億円）ファシリティマネジメント基本方針に基づく公共施設等の更新・修繕や、大阪健康安全基盤研究所の一元化施設整備、大阪公立大学新キャンパス整備関連事業の進捗などにより、１５２億円の増。 |

・建設事業費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R1決算 | R２決算 | R３ | R４当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 建設事業費補　　助うち国直単　　独 | 1,68391685767 | 1,56177675785 | 1,617851108766 | 1,51385558658 | 1,5９290273690 | 1,51988684634 | 1,469971106497 | 1,66696595700 | 1,580970113610 | 1,68082883852 |

|  |  |
| --- | --- |
| ○一般施策経費： | ２兆１，９５４億円（前年度当初比 １１３．２％、＋２，５５８億円）支出が義務付けられている社会保障関係経費の自然増や、新型コロナウイルス感染症対策関連経費（新型コロナウイルス感染症対策費や大阪府営業時間短縮等協力金支給事業費など）などにより、２，５５８億円の増。 |

・一般施策経費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３ | R４当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 一般施策経費うち貸付金うち補助金等 | 11,2573,5585,674 | 10,9653,3346,044 | 10,6473,0496,108 | 10,3372,6616,144 | 10,0462,4835,770 | 10,1562,2786,039 | 21,6978,73010,976 | 19,3968,9878,117 | 30,9767,72918,774 | 21,9547,68711,351 |

＊社会保障関係経費の状況については、５ページ参照。

|  |
| --- |
| ≪主なもの≫　　　　　　　　　　　　　　R４当初 |
| ・中小企業向け制度融資預託金・新型コロナウイルス感染症対策費・国保・後期高齢者医療関係費・大阪府営業時間短縮等協力金支給事業費・介護給付費負担金・私学関係助成 | ７，５２９３，２３４２，１７９１，４８９１，１５７８７６ | 億円億円億円億円億円億円 | ・障がい者自立支援給付費等負担金・施設型給付費等負担金・新型コロナウイルス感染症宿泊施設確保等事業費・新型コロナウイルス感染症対応資金融資利子補給金・地域医療介護総合確保基金事業費 | ６４２４８１３７５２４１２０５ | 億円億円億円億円億円 |
|
|
| ≪増減の大きいもの≫　　R３当初→R４当初 |  |
| （補助金等） | （貸付金）・中小企業向け制度融資預託金（その他＊）・新型コロナウイルス感染症宿泊施設確保等事業費・新型コロナウイルス感染症対策費・国民健康保険特別会計繰出金・大阪コロナ大規模医療・療養センター運営事業費＊物件費、繰出金、投資及び出資金 |  |
| ・大阪府営業時間短縮等協力金支給事業費・新型コロナウイルス感染症対策費・介護職員等処遇改善支援補助金・介護給付費負担金・障がい者自立支援給付費等負担金・看護師等処遇改善事業費・２０２５日本万国博覧会推進事業費（積立金）・地域医療介護総合確保基金積立金 | ＋１，４７５＋１，３５３＋１３０＋６３＋４５＋４４＋２０＋９ | 億円億円億円億円億円億円億円億円 | ▲１，３８４＋２９８＋２５１＋１９＋１８ | 億円億円億円億円億円 |
|

**■令和４年度当初予算における社会保障関係経費の状況**

**＜社会保障関係経費の内訳＞**

* 社会保障関係経費（一般財源ベース）は、前年度当初比で104.4％、257億円の増。

単位：億円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目等 | R3当初 | R4当初 | 増　減 |
| 総　額 |  | 総　額 |  | 総　額 |  |
| 一般財源 | 一般財源 | 一般財源 |
| 福祉費 | 社会福祉費　社会福祉施設等退職手当共済費補助金など | 49(16) | 34(16) | 57(23) | 41(23) | 8(7) | 7(7) |
| 障がい者福祉費　障がい者自立支援給付費等負担金や自立支援医療費（更生医療）給付費など | 832(678) | 808(675) | 916(721) | 850(718) | 84 (43) | 42(42) |
| 高齢者福祉費　介護給付費負担金や低所得者保険料軽減負担金など | 1,379(1,204) | 1,243(1,204) | 1,535(1,261) | 1,300(1,261) | 156(57) | 57(57) |
| 児童福祉費　保育所等にかかる施設型給付費等負担金や児童福祉施設事業費など | 1,142(954) | 988(879) | 1,209(969) | 1,006(892) | 67(15) | 18(13) |
| 生活保護費　生活保護給付費など | 53(50) | 29(28) | 51(48) | 27(27) | ▲1(▲1) | ▲2(▲2) |
| 健康医療費 | 公衆衛生費等新型コロナウイルス感染症対策事業費や措置入院及び通院医療費、難病対策費など | 2,316(311) | 428(141) | 4,211(319) | 528(157) | 1,895(7) | 100(16) |
| 医薬費　後期高齢者医療給付費負担金や国民健康保険基盤安定事業費負担金など | 2,326(2,148) | 2,175(2,128) | 2,369(2,197) | 2,221(2,178) | 43(48) | 46(50) |
| 教育費 | 文教諸費等　私立幼稚園等にかかる施設型給付費等負担金や私立専門学校授業料等減免事業費など | 192(192) | 　169(169) | 184(184) | 157(157) | ▲8(▲8) | ▲12(▲12) |
| 合　 計 | 8,289(5,554) | **5,873**(5,241) | 10,532(5,721) | **6,130**(5,413) | 2,243(167) | **257**(172) |

＊　（　）内は、法令等によって支出が義務付けられている経費の額。

＊上表の数値は職員人件費を含まない。

＊公衆衛生費等は、環境衛生費、保健所費を含む。

＊文教諸費等は、文教諸費及び大学費のうち、消費税率引上げによる幼児教育・保育の無償化、高等教育の無償化にかかる経費

（国制度分）の額。

**＜地方消費税増収分と社会保障関係経費＞**

・地方消費税率引上げによる増収額（1,122億円）は、全額を社会保障関係経費（6,130億円）の財源

として活用。

単位：億円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | R3当初 | R4当初 | 増減 |
| 【歳入】　地方消費税のうち社会保障財源相当額（市町村への交付金を除く） | 1,062 | **1,122** | 60 |
| 【歳出】　社会保障関係経費（一般財源ベース） | 5,873 | **6,130** | 257 |

|  |
| --- |
| ○減債基金への積立て：１７２億円（前年度当初比 ７５．４％、▲５６億円）＊財政再建団体転落回避のため、平成１３～１９年度の間に、減債基金から合計５，２０２億円の借入れを実施したため、減債基金残高が積立てておくべき額に比して不足。＊平成２１年度より、減債基金残高の復元を計画的に実施。令和６年度までの復元完了をめざし、令和４年度は１７２億円を積立て。 |

（参考１）減債基金復元額の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２１決算 | H２２決算 | H２３決算 | H２４決算 | H２５決算 | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 |
| 減債基金復元額(うち当初予算)　(決算剰余金1/2相当額)(その他) | 52(52) | 383(228)(155) | 514(385)(129) | 313(260)(53) | 766(320)(61)(385) | 392(280)(112) | 299(280)(19) | 303(276)(27) |
| 復元額累計積立不足額 | 525,150 | 4354,767 | 9494,253 | 1,2623,940 | 2,0283,174 | 2,4202,782 | 2,7192,483 | 3,0222,180 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３最終 | R４当初 |
| 284(273)(11) | 285(271)(14) | 294(269)(25) | 408(264)(144) | 393(228)(165) | 172(172) |
| 3,3061,896 | 3,5911,611 | 3,8851,317 | 4,293909 | 4,686516 | 4,858344 |

（参考２）実質公債費比率算定上の積立必要額との差引の推移　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２１決算 | H２２決算 | H２３決算 | H２４決算 | H２５決算 | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 |
|
| 積立必要額上記に対応する基金残高 | 6,3521,418 | 6,8471,665 | 7,6771,865 | 8,7242,817 | 8,5773,535 | 8,6114,125 | 8,2613,861 | 8,0013,699 |
| 差引 | ▲4,934 | ▲5,182 | ▲5,812 | ▲5,907 | ▲5,042 | ▲4,486 | ▲4,400 | ▲4,302 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３最終 | R４当初 |
| 8,2374,235 | 8,4524,899 | 8,7605,757 | 8,6056,559 | 9,4267,889 | 10,0528,640 |
| ▲4,001 | ▲3,553 | ▲3,003 | ▲2,046 | ▲1,537 | ▲1,412 |

**２　歳　入**

|  |
| --- |
| ○歳入全体の特徴・実質税収は増加、地方交付税等は減少府税収入は、景気の持ち直しの動きを背景に、企業業績の改善等により、前年度当初比１１３．６％、１，６５２億円の増（実質税収は、前年度当初比１２２．９％、２，２７４億円の増）。前年度最終予算比　府税収入…　９９．２％、１１６億円の減　　　実質税収…　１００．４％、５２億円の増また、臨時財政対策債を含む地方交付税については、前年度当初比５８．２％、２，３６３億円の減。　・国庫支出金は増加　　　新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえた対策の拡充に伴う、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増加により、国庫支出金は前年度比１９７．６％、３，６１８億円の増。　・府債発行は減少減収補塡債や臨時財政対策債の減少により、府債は前年度当初予算比３５．２％、２，６８８億円の減。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ○府税収入・令和４年度見込み | １兆３，７７１億円　（前年度当初比　１１３．６％　　＋１，６５２億円） |
| ・実質税収 | １兆２，２１３億円　（前年度当初比　１２２．９％　　＋２，２７４億円） |
| ＊景気の持ち直しの動きを背景に、企業業績の改善等により、法人二税を中心に令和３年度当初予算と比べ増収。 |
| 法人二税 | ４，６０１億円 | （前年度当初比 | １３６．１％ | ＋１，２２２億円） |
| 地方消費税 | ４，１２１億円 | （前年度当初比 | １０５．１％ | ＋２００億円） |
| 個人府民税 | ３，０３０億円 | （前年度当初比 | １０５．２％ | ＋１５０億円） |
| ＊うち森林環境税は、１３億円（前年度当初比１０４．５％） |
| 宿泊税 | ７億円 | （前年度当初比 | １１２．０％ | ＋１億円） |

・府税収入の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２決算 | H１９決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R1決算 | R２決算 | R３ | R４当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 府税収入実質税収法人二税 | 14,73113,5107,982 | 13,42511,5915,667 | 12,99212,0454,080 | 13,28911,6674,285 | 12,77811,8904,419 | 13,03912,3594,702 | 12,81311,3474,103 | 12,1199,9393,380 | 13,88712,1614,457 | 13,77112,2134,601 |

＊平成29年度以前の府税収入は、地方消費税清算特別会計の設置（平成30年4月）に伴い、関連予算を調整した後の数値。

＊実質税収は、（府税＋譲与税＋精算金収入）－（税関連の市町村交付金、精算金支出、還付金等）。

＊法人二税のピークは、平成元年度（８，３５２億円）。

|  |
| --- |
| ○地方譲与税：１，５５５億円（前年度当初比　１５５．１％、＋５５２億円）・うち特別法人事業譲与税：１，５１５億円 （前年度当初比 １５７．０％、＋５５０億円）　 |

|  |
| --- |
| ＜参考２＞特別法人事業譲与税　地方法人課税の偏在是正措置のため、令和元年10月１日以後に開始する事業年度から、法人事業税（地方税）の一部を特別法人事業税（国税）とし、その全額を人口を基準として都道府県に譲与（不交付団体に譲与制限あり）。（制度改正の影響は、令和２年度で通年化） |

|  |
| --- |
| ○地方交付税：２，９６６億円 （前年度当初比 １０３．９％、＋１１０億円）・臨時財政対策債を加算した額：３，２９３億円（前年度当初比 ５８．２％、▲２，３６３億円） |
| 　＊令和３年度国補正予算に伴う普通交付税の再算定において措置された額の一部(※1)を活用し、府債残高の増嵩を抑制するため、令和４年度の臨時財政対策債の発行額を調整。　　（発行可能額見込１,０００億円のうち、６７３億円を減額し、３２７億円の発行を見込む。）　　(※１) 令和３年度の臨時財政対策債を償還するための経費として算定された額（８０３億円）のうち、令和３年度臨時財政対策債の発行額縮減に活用した１３０億円を除いた残余。 |

・地方交付税の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R1決算 | R２決算 | R３ | R４当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 地方交付税[臨時財政対策債] | 2,764[2,630] (5,394) | 2,826[1,835] (4,660) | 2,764[1,519] (4,283) | 2,448[1,515] (3,962) | 2,360[1,532] (3,892) | 2,478[1,389] (3,867) | 2,594[1,386] (3,980) | 2,856[2,800] (5,656) | 3,797[2,800] (6,597) | 2,966[327] (3,293) |

＊（　）内は、臨時財政対策債を加算した数値。

|  |  |
| --- | --- |
| ○府　債： | １，４６０億円（前年度当初比 ３５．２％、▲２，６８８億円）通常債（※）は増加するものの、税・地方交付税の代替として発行する減収補塡債や臨時財政対策債の減少により、府債は２，６８８億円の減。　（※）地方財政法第５条に基づき公共施設又は公用施設の建設事業費等の財源に充当する地方債。 |
| ・通常債・減収補塡債・臨時財政対策債・行政改革推進債 | ９６９億円７９億円３２７億円８５億円 | （前年度当初比 　１１６．２％（前年度当初比 　　１７．８％（前年度当初比 　　１１．７％（前年度当初比 　１２３．７％ | ＋１３５億円）▲３６６億円）▲２，４７３億円）＋１６億円） |

⇒　臨時財政対策債等を除いた府債残高は、平成１９年度以降減少。全会計の府債残高は前年度に比べて減少。

・府債発行額の推移　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２６決算 | H２７決算 | H２８決算 | H２９決算 | H３０決算 | R１決算 | R２決算 | R３ | R４当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 一般会計府債発行額 | 3,379 | 2,757 | 2,939 | 2,404 | 2,413 | 2,314 | 3,087 | 4,147 | 3,661 | 1,460 |
| 一般会計府債残高 | 54,334 | 53,797 | 53,691 | 53,661 | 53,626 | 53,575 | 54,042 | 56,203 | 55,523 | 54,368 |
| 全会計残高うち臨財債等残高うちその他残高 | 63,751[30,561][33,190] | 62,861[31,323][31,538] | 62,327[31,925][30,403] | 61,731[32,661][29,069] | 61,402[33,089][28,313] | 61,065[33,244][27,822] | 61,374[33,898][27,476] | 63,444[36,075][27,369] | 62,713[35,550][27,162] | 61,398[34,602][26,795] |

＊臨財債等とは、臨時財政対策債、減税補塡債、減収補塡債及び臨時税収補塡債。

|  |  |
| --- | --- |
| ○その他歳入： | １兆６７２億円（前年度当初比 ９５．３％、▲５２３億円）普通交付税の精算措置影響への対応及び臨時財政対策債の発行額調整のため、財政調整基金繰入金の増があるものの、中小企業向け制度融資預託金の減による貸付金元利収入の減少などにより、その他歳入は５２３億円の減。 |
| ・貸付金元利収入・財政調整基金繰入金（交付税是正等対応分） | ７，５８２億円９９６億円 | （前年度当初比 ８４．４％（前年度当初比　　　 | ▲１，４００億円）皆増　　） |

（参考）令和３年度地方財政計画と府税収入等実績の乖離による後年度影響への対応

|  |
| --- |
| 令和３年度の普通交付税のうち、国の地方財政計画における国税・地方税見込みと府税等の実績との乖離により生じた増収分については、翌年度以降の普通交付税算定において是正されることなどから、令和３年度の歳入のうち必要な額を財政調整基金に積み立て、年度間の財政調整を行う。そのため、令和３年度末から令和５年度末の間の財政調整基金残高が一時的に増嵩する。【　積立額　（Ｒ３） １,６４２億円　　　取崩額　（Ｒ４） ９９６億円　（Ｒ５） ３２３億円　（Ｒ６） ３２３億円　】 |
| ＊令和４年度は、普通交付税の精算措置影響への対応及び臨時財政対策債の発行額調整のため、９９６億円を取崩し。 |
| ○財政調整基金の取崩し | ：７９４億円　（前年度当初比 ８４．９％、▲１４１億円） |
| 一般施策経費（新型コロナウイルス感染症対策等）や社会保障関係経費の増加があるものの、実質税収の増加により、財政調整基金の取崩しは、１４１億円の減。 |
|  |

・財政調整基金残高の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | H２１ | H２２ | H２３ | H２４ | H２５ | H２６ | H２７ | H２８ | H２９ | H３０ |
| 残　高 | 6(434) | 78(1,256) | 784(1,385) | 711(1,438) | 1,037(1,500) | 1,039(1,612) | 843(1,602) | 544(1,479) | 584（1,475） | 1,117（1,489） |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | R１ | R２ | R３ | R４ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 1,148(1,562) | 1,043(1,706) | 507(2,037) | 1,244 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

＊上段は当初見込み、下段は令和２年度までは決算額、令和３年度は１１号補正後見込み。

＊上記残高には、後年度の普通交付税算定における是正等対応のための一時的な積立分を含まない。

　（参考）財政調整基金の積立て・取崩しについて

単位：億円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 取崩額 | 積立額 | 残　高 |
| ◆ | 令和３年度当初予算編成 | 935 |  | 507 |
| ◇ | 令和２年度決算取崩し（最終265億円⇒決算取崩しなし） | ▲265 |  | 771 |
| ◇ | 令和２年度決算剰余金の1/2編入 |  | 165 | 937 |
| ◆ | 令和３年度１号～１０号補正 | 258 |  | 678 |
| ◆ | 令和３年度１１号補正（現計1,193億円⇒最終　皆減） | ▲1,193 |  | 1,872 |
| ◆ | 令和３年度１１号補正　積立 |  | 166 | 2,037 |
| □ | 令和４年度当初予算編成 | 794 |  | 1,244 |